

あしや子ども風土記

写真で見る 芦屋今むかし ①

芦屋の今(平成十一年)とむかし(昭和三十年代)の写真を見比べることで、人々の暮らしがどのように移り変わってきたか確かめることができます。これからのまちづくりのヒントになるでしょうか。

芦屋のまちの移り変わり

むかしの人たちの努力によって、海と山に挟まれた豊かな町、芦屋が作られてきました。のどかな農村であった精道村は、百年の間に別荘地から郊外住宅地、住宅都市芦屋へと大きく変わりました。

左の図は、昭和二十四年の芦屋市政要覧に載った観光計画図です。東海道線芦屋駅の南側から放射状に町が作られ、公共機関が置かれ、周辺に環境施設・娯楽施設などが整えられています。

芦屋の浜では、水族館・潮湯・プール・クラブハウス・ヨットハーバー



現在の南芦屋浜(潮芦屋)

二枚の写真は、山手小学校の屋上から撮ったものです。左下の写真は、芦屋名勝と題された絵はがきの一枚です。この山手小学校(旧山手尋常小学校)は、昭和八年十二月に創立しました。この写真が撮られたころ、芦屋市は精道村と呼ばれ、人口約三万人を数えました。

芦屋の今と昔を写真から見ることで、どのようになっているのか、いかに住みよいまちづくりが必要なのかを探る手掛りになることを願っています。

芦屋市街

そして、生活環境を良くし、教育施設を増やし、警備体制警察・消防など、衛生環境病院・焼却場などを整備し、住宅都市芦屋の形成と生活の場としての整備が、次々と進められていきました。



昭和初期 精道村のころ (『芦屋名勝』絵はがき)



平成10年(1998)山手小学校の屋上より

国鉄(ＪＲ)芦屋駅

大阪・神戸間に鉄道が開通したのが、明治七年のことでした。そのころ芦屋には駅はなく、電車で乗るには住吉駅まで歩かなければなりません。

昭和三十二年には快速電車の停車駅となり、ますます乗降客が増えました。そのため、玄関口である国鉄芦屋駅前のターミナル整備が必要となりました。

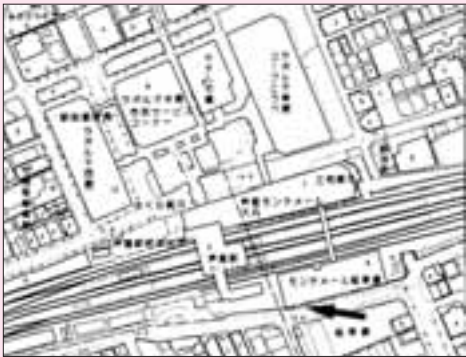
昭和四十五年(1970)に三階建ての芦屋駅が完成し、地下通路は廃止され、陸橋からの乗り降りが可能となりました。



昭和39年(1964)国鉄芦屋駅付近



平成10年(1998)JR芦屋駅付近



●平成二十一年(再版)発行したあしや子ども風土記 写真で見る芦屋今むかしを紹介いたします。ここでは、発行当時の原文に近い状態で引用しています。

商業登記

- 会社・各種法人・組合などの設立
- 役員の変更
- 商号や目的(事業内容)の変更
- 本店または支店の移転
- 合併や営業譲渡など企業再編
- 有限会社から株式会社に組織変更

毎月の返済を楽にするための債務整理や払いすぎた利息の返還請求。遺言の作成や信託などの相続税対策、成年後見をはじめ財産管理をお考えの場合にもご相談に応じます。

個人の秘密は厳守いたします。安心してご相談ください。

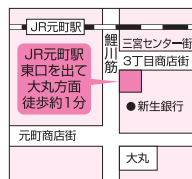
あずさ司法書士法人 神戸オフィス
兵庫県司法書士会 法人番号 30-00023
神戸市中央区三宮町3丁目7番10号 協栄ビル4F
<http://www.azusa-office.jp>
TEL.078-958-6070 受付時間 AM10:00~PM7:00

司法書士 山村直子 ■兵庫県司法書士会 第1682号 ■簡裁代理認定 2004年3月1日 第212355号

広告



司法書士
山村直子



シリーズあしや子ども風土記

■シリーズ「あしや子ども風土記」は、美術博物館・市役所売店で販売しています。



第2集「歴史さんぽ」、第3集「植物のかんさつ」、第4集「小さな生きものたち」、第5集「文学さんぽ」と第9集「写真で見る芦屋今むかし2」は各400円。第6集「芦屋の地名をさぐる」、第7集「写真で見る芦屋今むかし1」、第8集「描かれた芦屋の風景」は各500円。第1集「伝記・物語」は完売しました。

問い合わせ 美術博物館 ☎38-5432